**注意　申込を希望する場合は別紙校内申込用紙に必要事項を記入し、必ず保護者の確認、部活動顧問の確認、クラス担任の確認を得てから担当者（機械工学科　木嶋）まで御提出下さい。**

**家庭配付用**

平成３０年４月２０日

# 平成30年度　日本ボイラー協会主催　高校生
# 「小規模ボイラー取扱資格」および「二級ボイラー技士免許」について（案内）

静岡県立科学技術高等学校
機械工学科　ボイラー資格担当

日本ボイラ協会静岡支部より「**小規模ボイラー取扱資格取得講習**（ボイラー取扱技能講習）」および「**二級ボイラー技士免許交付に必要な必修講習**（ボイラー実技講習）」の案内が届きました。機械工学科に限らずどの科の生徒も取得（受講）可能です。下記説明をよく読んで申し込んでください。

◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆

## 小規模ボイラー取扱資格『ボイラー取扱技能講習』について

**◆どんな資格？**･･･　小規模ボイラー（例えば伝熱面積が３㎡以下の蒸気ボイラーなど）を取扱う資格です。２日間の講習の最後に修了試験があり、合格により修了証が発行されます。講習会の内容をしっかり聞いていれば取得（合格）できます。合格率は概ね９割以上（１０割に近い）です。運転できるボイラーはごく限られたものですが、取得後４ヶ月の運転実績（例えば企業へ就職後、ボイラーの運転実務経験を積むことなど）により２級ボイラー受験資格が得られるのも大きなメリットです。

**◆受講資格は？**･･･　科、学年は問いません。ただし、学科の行事や部活動の都合により申込後のキャンセルが過去にありました。申込後のキャンセルを防ぐために、申し込む前に部活動予定、学校行事をしっかり確認してから申し込んでください。

**１　講習会日程**
・期　　間：平成３０年**8月8日（水）、9日（木）**･･･全時間出席が必須
・時　　間：１日目　８月　８日（水）　　講　　習　　　８：５０～１７：００
　　　　　　２日目　８月　９日（木）　講習及び修了試験　８：５０～１８：０５
・会　　場：静岡労政会館５Ｆ　（静岡市葵区黒金町５番地の１）
・結果通知：例年講習後１～２週間

**２　費　用**　　１７，１００円
内　訳：受講料１４，４００円　＋　テキスト代２，７００円　＝１７，１００円
※別紙日本ボイラ協会静岡支部発行「ボイラー取扱技能講習のご案内（高等学校生等）」参照

◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆

## 二級ボイラー技士免許について

**◆どんな資格？**･･･　伝熱面積の合計が２５㎡未満のボイラーの取扱作業主任者となることができる資格です。

**◆受験資格は？**･･･　科、学年は問いません。　近年免許制度が変更になり、従来の「**実技講習修了（修了にて受験資格取得）→技士免許試験合格→免許交付手続き**」という流れに加えて、「**技士免許試験合格→実技講習修了（修了にて免許交付要件取得）→免許交付手続き**」という流れでの取得も可能になりました。自由度がやや増した感があります。

しかし、免許試験の高校生合格率が約２０％程度で比較的難しくリスクを伴います。また、かかる費用がかなり高額なことと、自主的な勉強が求められるので、試験準備のためにかなりの時間を割かなければならないことなどから誰でもどうぞという訳にはいきません。「**経済的な協力が得られる**」、「**計画的な自学自習ができる**」、「**集中できる**」、「**根気がある**」という条件が全て整っていることを前提に、希望があれば受講してもよいと思います。申し出てください。

### １　二級ボイラー技士資格取得までの流れ

（１）　**実技講習会**　･･･法令で定められた講習会で、二級ボイラー技士免許試験の免許交付に必要で、全時間出席が必須です。この修了証でボイラーの運転はできませんが、免許試験に合格するまで有効です。仮に今回免許試験が不合格でも次回からは試験（有料）だけ受ければよくなります。試験に合格した後に受講しても構いませんが、次回の講習会が来年の夏になってしまうため、資格を高校在学中に取得するためには、今夏の講習会を最初に受講することが望ましいといえます。

・期間：平成３０年　**8月2日（木）**、3**日（金）**、**5日（日）**　の３日間
・時間：８時５０分　～　１７時００分
・会場：静岡労政会館５Ｆ（静岡市葵区黒金町５番地の１）
※3日目の実技は別会場となります。実技会場（清水区）は学科講習の際指示があります。
※実技受講の際、作業に適した服装（長袖）、帽子、安全な靴、手袋が必要となります。

（２）　**試　験**　･････　Ｈ３０年度出張特別試験

・日時：**平成29年11月 18日（日）予定　･･･時刻は未定**
・会場：**静岡県立大学**　静岡市駿河区谷田52-1
・試験時間：３時間

（３）　**免許交付手続き**　満１８歳の誕生日を待って各自で交付手続きを行う。

**２　講習会費用**　･････　３０，３８０円（この金額のほかに別途下記受験料6,800円がかかります。）
内　訳

| | | |
|---|---|---|
| 実技講習会 | ２１，６００円 | （法令に基づく講習会である） |
| 最短合格２級ボイラー技士試験 | ２，７００円 | （自習用教材　日本ボイラー協会編） |
| 新版　わかりやすい安全規則 | １，３５０円 | （自習用教材　日本ボイラー協会編） |
| 公表問題解答解説（合本） | ２，１６０円 | （自習用教材　日本ボイラー協会編） |
| 標準問題集（解説付） | ２，５７０円 | （自習用教材　日本ボイラー協会編） |

**３　試験費用　受験料**　･･･　６，８００円（試験申込時に各自で支払う）

**４　試験科目と試験範囲**

| 試験科目 | 試験範囲 |
|---|---|
| (1)ボイラーの構造に関する知識 | 熱及び蒸気、種類及び型式、主要部分の構造、附属設備及び付属品の構造、自動制御装置 |
| (2)ボイラーの取扱いに関する知識 | 点火、使用中の留意事項、埋火、附属設備及び付属品の取扱い、ボイラー用水及びその処理、吹出し、清浄作業、点検 |
| (3)燃料及び燃焼に関する知識 | 燃料の種類、燃焼方式、通風及び通風装置 |
| (4)関係法令 | 労働安全衛生法、労働安全衛生法施行令及び労働安全衛生規則中の関係事項、ボイラー及び圧力容器安全規則、ボイラー構造規格中の附属設備及び付属品に関する条項 |

**４　出題形式及び合格基準**
・５肢択一式。出題科目は４科目（上記表中(1)～(4)、出題数は各科目 10 題で、合計 40 題。（400 点満点）
・各科目とも１ 100 点満点中 40 点以上であって、かつ合計得点が 240 点以上の場合に合格となる。

◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆

## 校内申し込みについて

別紙　校内申込書　に「小規模ボイラー」･「二級ボイラー技士」のいずれかを選び、必要事項を記入の上提出してください

**申込期限：5月2日（水）　校内申込書提出先：管理棟２階　木嶋先生机上**

【注意事項】「小規模ボイラー」･「二級ボイラー技士」双方の講習は法令にもとづくもので、欠席、遅刻、早退等をすると修了証の交付が受けられません。受講日、試験日等に学校の行事・学年行事・部活動の大会・遠征等が重なっていないか事前に確認をお願いします。出席できない恐れがある場合は申し込まないようにしてください。

申し込みの際、費用面で保護者の確認を、また日程面で部活動顧問およびクラス担任の確認を取り、校内申込書のチェック欄にサインまたは㊞をお願いします。

費用徴収は追って行います。今回は校内申込書のみで結構です。

**担当：機械工学科　木嶋**